

人文社会科学部オープンキャンパスへようこそ！

このたびは、“高知大学人文社会科学部 オープンキャンパス 2017”にご参加いただき、ほんとうにありがとうございます。半日ほどの時間ですが、この機会に、できるだけ多く又有意義に大学の〈学部生活〉を《体験》してください。

皆さんには、在学生の人が日常行っている授業以外の活動にも目を向けてほしいと思っています。活動は、サークルだけでなく、学内外のボランティア、サポート活動に及んでいます。例えば、スポーツ系、文化系のサークル活動をどんな気持ちでがんばり、どのように勉強とバランスをとっているのか等々。彼等のこうした自主性の所以にも関心を寄せてください。

保護者の皆さまには、この機会を利用して、朝倉キャンパス周辺の生活環境についてもご確認されてはいかがでしょうか。お子さまの高知大学での生活を親御さまの観点でイメージされることは、受験準備の一環としてたいへん意味あることではないかと思えます。

数多く《体験》されることを願っています。

高知大学人文社会科学部長 吉尾 寛

＜オープンキャンパスのあるきかた＞

人文社会科学部の企画は、おおきくわけて、模擬講義やミニゼミといった授業系のコース企画、コース紹介、交流会、体験報告会といったイベント系のコース企画、そして学部企画としてのキャンパスツアーがあります。

＜授業系のコース企画＞

3つのコースそれぞれに多彩な学問分野の模擬授業を開講します。ひとつのコースに絞って連続で受講しても良し、あるいは複数のコースにまたがってコースごとの特色を感じとって良し・・・高校の授業とは少しちがった、大学教員による専門的な話を聞いたり、大学の授業の雰囲気を実体験したりすることができます。

＜イベント系のコース企画＞

3つのコースそれぞれにおこなわれるコース紹介では、各コースで学ぶことのできる学問分野やカリキュラムの内容について、学部全体の仕組みとともに説明します。

また、学生・教員との交流会や報告会は、在学生の「ナマの声」を聞いたり、教員に直接、質問をぶつけてみたりする、絶好のチャンスになるはずです。

＜キャンパス・ツアー：午後1時に221番教室に集合＞

学部共通企画としておこなわれるイベントとして「キャンパス・ツアー」があります。人文社会科学部の学生が勉学に励む教室、演習室、書庫、図書館など、学部棟を中心にさまざまな場所を在学生が案内します。参加を希望される方は、午後1時に221番教室（共通教育棟2号館2階）に集まってください。

人文科学コース

<模擬講義>

「火と食物の起源神話を哲学する—人間は自らの文明を後ろめたく思ったのか」

(安藤恵崇(哲学・思想))

10:00~10:35 ■ 2 1 2 番教室

火の使用と食物の生産は、人類が他の動物から自らを切り離して人間として独り立ちし、文明を築くに至った画期的な出来事でした。現代人は、ほぼ共通してそのように思っているはずですが。しかしなぜか火と食物の起源神話は、世界的に盗みや原初の殺人といった後ろ暗いものに満ちています。そこにはどういう秘密があるのでしょうか。いくつかの神話をみながらこの問題へ哲学的にアプローチしてみようと思います。

「人はなぜ笑顔になるのか」(日比野桂(心理学))

11:30~12:05 ■ 2 1 2 番教室

人はどんな時に笑顔になるのでしょうか。嬉しい時や楽しい時にも笑顔になりますが、それだけでしょうか。実は笑顔にも様々な種類があってその中には「偽りの笑顔」といえるような表情もあります。「偽り」といっても悪いものではなく、ちゃんと意味があるのです。なぜ偽りの笑顔が存在するのか。そこにはどんな意味があるのか。「偽りの笑顔」について進化と感情の二つの観点から考えてみたいと思います。

「気候変化と歴史的イベント」(杉谷隆(歴史・地理学))

13:00~13:35 ■ 2 1 2 番教室

高校までの地理や歴史、地学では習わないことですが、過去の地球規模あるいは局地的な気候変化はかなり明らかになってきており、人間生活の基盤である農業生産に影響を与えたことが知られています。気候変化は、いま懸念されている人為的な原因が主であると想定されている地球温暖化だけではなく、過去にも自然に発生していたのです。講義では、いくつかの例についてビデオ資料を用いながらお話しします。

「夏目漱石『こゝろ』の解釈について」(田鎖数馬(日本語・日本文学))

10:00~10:35 ■ 2 2 1 番教室

『こゝろ』は、先生とKが、静という一人の女性に恋をしたことから起こった悲劇の物語です。ところで、この作品では、この恋をめぐる先生とKの關係に焦点を当てられることが多く、もう一人の当事者である静の気持ちや行為に注意して読まれることは少ないように思います。本講義では、先行研究を踏まえつつ、静が、先生やKにいかなる気持ちで、どのように接していたのかを考え、女性の視点からこの物語を読み解いていきます。

「不条理文学を知ろう！：メルヴィル『書記人バートルビー』、カフカ『変身』、カミュ『異邦人』」
（藤吉清次郎（英米文学））

10:45～11:20 ■ 2 2 1 番教室

この講義では、19世紀アメリカ文学を代表するハーマン・メルヴィルの『書記人バートルビー』（1853）という作品を読みながら、不条理文学の在り方を考えます。不条理文学は、異常な状況を提示することによって私たちの「常識の世界」に揺さぶりをかけ、世界の意味、生の意味を問います。カフカ『変身』やカミュ『異邦人』にも言及しながら『書記人バートルビー』という不条理な文学世界にみなさんをご案内します。

<人文科学コース紹介>

「在学生によるコース紹介—何を学べるか、どのように学べるか—」

10:45～11:20 ■ 2 1 2 番教室

11:30～12:05 ■ 2 2 1 番教室

人文科学コースの、「哲学・思想」「心理学」「歴史・地理学」「日本語・日本文学」「英米文学」の5つの専門分野について、それぞれの概要、講義やゼミでどんな勉強ができるのか、どんな授業があるのか、どんな先生がいるのか、ゼミの雰囲気はどうかといったコースに関する様々なことを、それぞれの専門分野を学ぶ在学生が紹介していきます。

<教員・学生との交流会> 13:45～15:00 ■ 人文社会科学部棟（5階）第1会議室

教員・在学生に、大学や学生生活に関する様々な相談ができます。学部パンフレットやコース案内冊子を見ただけではよくわからないこと、今日のコース紹介や模擬講義で疑問に思ったことやもっと知りたいと思ったこともどんどん質問してください。5つの専門分野ごとに教員と在学生が質問に応じるほか、分野によっては、資料の展示・説明、授業で使う教室や書庫などの見学ができる場合もあります。

国際社会コース

<国際社会コース紹介①> 「どんなことが、どんなふうに学べるの？」

10:00~10:35 ■ 210番教室

10:45~11:20 (再) ■ 325番教室

国際社会コースでは、多元化・複雑化するグローバル社会を見据え、国内外の様々な「壁」を乗り越えて活躍できる「グローバル市民」の育成を旨としています。国内外でのフィールド・スタディや少人数制のゼミナールに加え、6つのプログラムによる学びが特色となります。ここでは、プログラム制やコースの特徴などを具体的に紹介します。

<国際社会コース紹介②> 「ゼミを知ろう」

10:45~11:20 ■ 210番教室

11:30~12:05 (再) ■ 325番教室

第二言語習得論研究、そしてそれに関わる英語教育について学んでいるゼミの紹介をします。具体的には、①2年生、3年生、4年生、それぞれ学年に分かれて行われているゼミの様子、②2年生から4年生が一緒になって、グループ毎に興味あるテーマを調べ、発表する合同ゼミの様子、③卒論発表会（卒論中間発表会）の様子、④テレビ会議システムを用いた海外協定校（台湾 中国文化大学）との学生間研究交流会の様子を紹介します。

<模擬授業>

「Identity Perception in a Culture of English」 (Howard Doyle)

10:00~10:35 / 10:45~11:20 (再) ■ 321番教室

This short lesson demonstrates two things which I do in my courses and research in the International Studies Course at Kochi University:

1. about identity, especially identity of people who use English – people like you; and
2. about how we see people and also the English that they use – it is not always the same as we think.

Participants have a chance to do and see it for themselves.

「「翻訳」から異文化に触れる」 (土屋京子)

11:30~12:05 / 13:00~13:35 (再) ■ 321番教室

「翻訳とは何か」と考えてみたことがありますか？現代社会ではグローバル化とローカル化が進み、人やモノ、情報が行き交うことにより、異文化間を取り持つ翻訳の担う役割は大きくなっています。Google 翻訳などの自動翻訳の開発に期待が寄せられていることはご存知でしょう。しかし「翻訳とは、ある言語から他言語へ置き換えること」という機械的作業

なのでしょうか？ この授業では、翻訳に関する事例を見ていきながら、異文化接触の様々な可能性について考えます。

「《ファストファッション》でつながる日本とアジア」(岩佐和幸)

11:30~12:05/13:00~13:35 (再) ■ 3 2 2 番教室

UNIQLO や ZARA、H&M……身の回りには安くて手頃な衣類が溢れています。こうした衣類は通称「ファスト・ファッション」と呼ばれ、2009 年には新語・流行語大賞のトップテンに選ばれるほど、日常生活に浸透しています。しかし、製造拠点となったアジアでは、急拡大に伴って「搾取工場」批判がわき起こり、日本国内でも産業空洞化や外国人労働力依存が進む等、「ファストファッション」は国内外で様々な影響をもたらしています。この授業では、「ファスト・ファッション」を通じた日本とアジアとの目に見えないつながりを取り上げ、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

＜学生による国際体験報告会＞

13:45~15:00 ■ 2 1 0 番教室

国際社会コースでは、さまざまな形での国際体験が可能です。行き先、期間、そして目的など、自分に合ったものを選ぶことができます。また大学で用意したものだけでなく、自分なりの国際体験を作っていくことも、もちろん可能です。今回の報告会では、4名の学生に、海外での体験を語ってもらいます。これを参考に、ぜひ、みなさん自身の国際体験をイメージしてみてください。

＜国際社会コース相談コーナー＞

11:30~13:35 ■ 3 1 1 番教室

タイトルの通り、国際社会コースに関わることすべての相談会です。例えば、「留学しようと考えているけど…」 「外国語の授業ってどのようなもの？」 など、国際社会コースに関して知りたいことを相談してみませんか。国際社会コースの教員や学生ができる限り対応します。

社会科学コース

<模擬講義①> 「どう使う？SNS—経済学で考える情報と社会—」(海野晋悟)

11:30~12:05 ■ 335番教室

普段、みなさんは SNS をどのように使っていますか？

SNS で宿題を調べた、SNS で友達と外出の約束をした、SNS でオススメされた商品を買った、SNS で有名人の考えを知った、というように SNS で**情報**を入手していると思います。

現在の私たちは SNS の情報を自らの**行動の決定**に役立てています。

この講義では、なぜ SNS の情報は役立つのか？ 新聞・テレビとどのようにちがうのか？ SNS の情報に問題はないのか？ などを最新の研究を紹介しながら、みなさんと一緒に考えます。

<模擬講義②> 「どうする？少子高齢化」

■ 334番教室

◎法学編・経済学編(緒方賢一・野崎華世) 10:00~10:35/13:00~13:35(再)

◎経済政策編・経営学編(飯國芳明・寺崎新一郎) 10:45~11:20/13:45~14:20(再)

現代日本社会のキーワード、「少子高齢化」。みなさんも、新聞等、各種メディアでたびたび耳にすることと思います。この機会に、少子高齢化にまつわる様々な問題について考えてみませんか？

社会科学コースでは、経済学、経済政策、経営学、法学、4つの観点から少子高齢化について考えます。少子高齢化の中、私たちはこれからどのように働き、生活していくのか、社会科学から考えるヒントを探り出してみましょ。

<社会科学コース紹介>

10:00~10:35/10:45~11:20/13:45~14:20 ■ 335番教室

社会科学コースでは、経済学、経営学、会計学、法律学、政治学などの社会科学を中心に学ぶことができます。社会科学コースの学びをとおして一人ひとりが幅広い社会科学の知識に支えられた専門的な能力をつけ、社会的な課題の解決に取り組むことを目指します。ここでは、社会科学コースの学びの特色などを具体的に紹介します。

<学生・教員との交流会>

14:20~15:00 ■ 335番教室

社会科学コースの学生と教員が、大学生活のいろいろな疑問にお答えします。授業やゼミの雰囲気はどんな感じ？部活・サークルやアルバイトと両立できる？その他、パンフレットやコース紹介では分からないことがあれば、ぜひ質問してみてください。もちろん、先輩学生や教員と話してみたいだけ、という方でも大歓迎です。